



04

July 2005
Summer

特集 和歌と物語の
古写本コレクション



『御蒙灌河歌合』(上)『宮河歌合』(下)

CONTENTS

- 和歌と物語の古写本コレクション
- L I B R A R Y N A V I G A T O R
- 図書館さんぽ 第4回「よつ葉ライブラリー」
- V O I C E
- 新収資料紹介
- I N F O R M A T I O N

特集

和歌と物語の古写本コレクション

文学部教授 池田 和臣

今年西暦2005年は、ちょうど古今和歌集成立から1100年目、新古今和歌集の成立から800年目にあたる。各地の美術館・博物館・大学図書館などでは、古今集・新古今集の古写本や古筆切（古写本を1頁ずつに切断したもの）を展示する記念行事が数多く企画され、あるいはすでに実施されている。

文学作品が木活字や版木によって印刷されるようになつたのは、桃山時代の嵯峨本（光悦本とも）以降であり、それより前は、文学作品を読もうとすれば、人から本を借りて書き写さなければならなかつた。これが写本であり、古典文学は写本によって書き継がれ読み継がれてきたわけである。

平安時代や鎌倉時代に書写された写本は、筆跡が優美であるうえに、後世に伝存するものがきわめて少なく、美術的にも稀少価値をもつていた。それゆえ、茶の湯の流行とともに床の間にかける掛軸にするために、古写本の1頁1頁が切断されてしまうということもおこなわれた。これが古筆切である。たった1頁の断片とはいえ、書写年代が古く原典により近い写本の断片の場合は、オリジナルテクスト 原典本文の再建のための貴重な資料となり、その学問的価値は測り知れない。古写本のみならず古筆切も、貴重な文化財なのである。

中央大学図書館（文学部国文研究室分置を含め）にも、貴重な文化財である古典文学作品の古写本・古筆切が収蔵されている。そこでここに、古今集・新古今集にかかわるものを中心に、いささか紹介してみたい。が、その前に、迂遠ながら古今集・新古今集の簡略な解説をしておこう。

古今集は醍醐天皇の命により紀貫之ら4人の撰者によって編まれた、はじめての勅撰和歌集である。真名序（漢文で書かれた序文）に記されている延喜5年（905）4月15日という年月日を、勅命の下った時とみるとか、奏覽（完成披露）の時とみるとか、学説はいまだ定まっていない。現在の古今集には延喜5年より後に詠まれた歌が含まれていて、それを古今集本来のものと考えるか、後代の補入と考えるかによって、〈延喜5年〉のもつ意味が変わってしまうのである。が、教科書の通念は延喜5年をもって古今集の成立とする。古今集の意義は、文学的なものにとどまらない。自然の美どうつろい、人の生き死に、人の世のいとなみ、人の心のうつろい、そういう自然と人事のもうもろの現象にたいする日本人の感覚・感情・認識の形式を、和歌という表現をとおして創り上げたのが、古今集である。言い換えれば現代に至る日本人の感性と認識のかたちを、古今集が無意識の深みから縛りつづけているといってよかろう。

新古今集は後鳥羽院の命により藤原定家ら5人の撰者

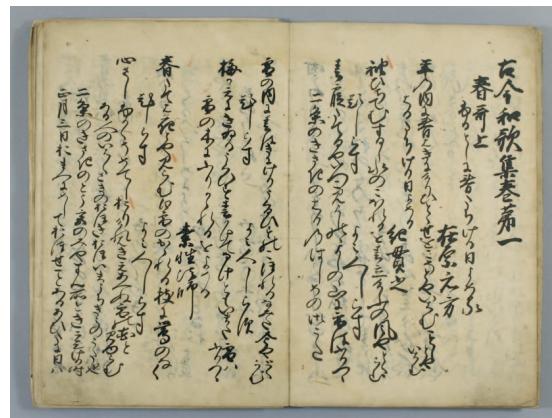
によって編まれた8番目の勅撰集で、元久2年（1205）に一応の完成の宴が催された。しかし、さらに精選するために削除と増補がつづけられ、建保4年（1216）に最終的本文が清書された。そしてその後も、承久の乱で隠岐島に流された後鳥羽上皇は一人精選作業をつづけ、普通の新古今集よりも約380首も少ない隠岐本と呼ばれる新古今集を作りあげた。後鳥羽上皇という人間は、鎌倉幕府打倒という政治的野望のみならず、文芸の道においても激しい執念を燃やしつづけた人であった。また、藤原俊成・藤原定家の歌に代表される幽玄——寂寥感をやどした余情——の美を花開かせた新古今集は、侘び寂びにつながる日本の美意識の形成にも、大きな役割をはたしたといえる。

さて、本学には室町時代に書写された古今集の古写本が二種類所蔵されている。ひとつは嘉禄本かろく⁽¹⁾と呼ばれるもので、原本は藤原定家が嘉禄2年（1226）4月に書写した古今集である。もうひとつは貞応本(2)と呼ばれるもので、やはり定家が貞応2年（1223）7月に書写した古今集が原本で、それを室町時代に柳原資康が転写したものである。ともに藤原定家筆の原本の面影をただよわせた、堂々たる古写本である。

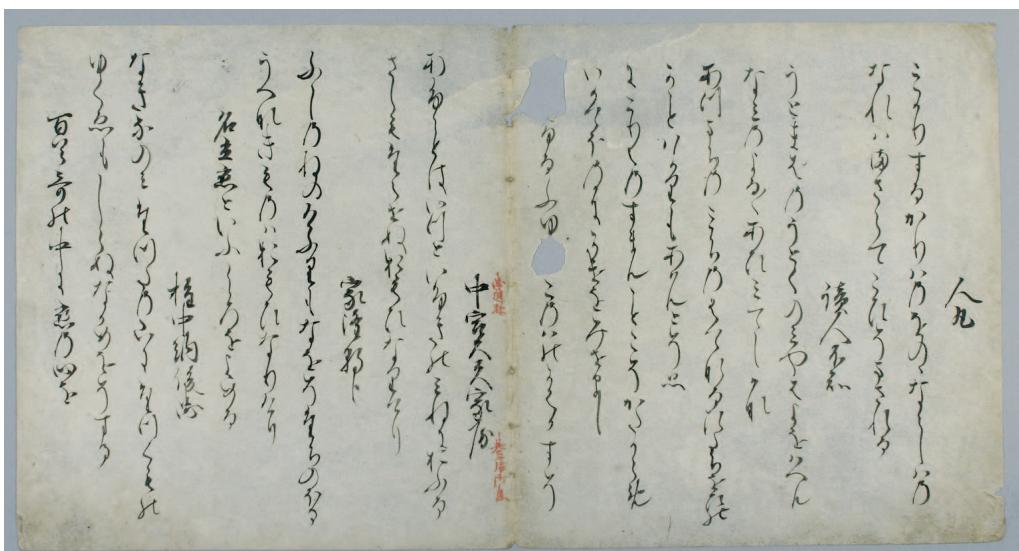
古今集の注釈書に、藤原定家が作った『顕註密勘』⁽³⁾という本がある。和歌の実作者としての批評精神に支え



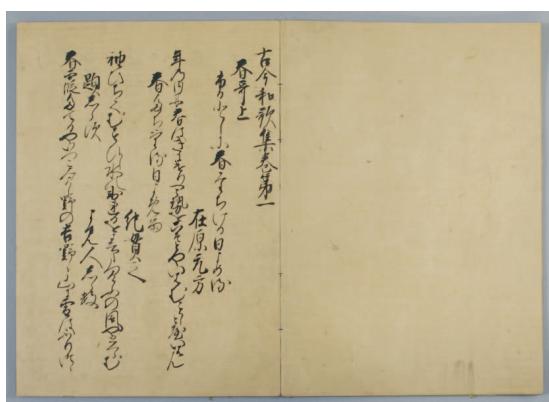
『古今和歌集』（嘉禄本と貞応本）



『古今和歌集』（嘉禄本 卷一冒頭）



『新古今和歌集円山切』(新古今和歌集の最も古い写本の断簡)



『古今和歌集』(貞応本 卷一冒頭)



『顕註密勘』(古今和歌集の注釈書 紹巴自筆奥書付)

られた注釈書とされている。この顕註密勘の室町時代の写本も所蔵されている。室町時代の有名な連歌師里村じょうは紹巴の自筆奥書のある、貴重な写本である。これは日

本古典文学会から影印本⁽⁴⁾が刊行されている。

筆跡などからみて、新古今集の成立直後に書写された写本の断簡と考えられる古筆切に、伝慈円筆円山切⁽⁵⁾がある。筆者と伝えられる慈円（1155～1225）は、後鳥羽上皇の討幕計画を思いとどまらせようとして史論『愚管抄』を書いた人物として有名であるが、新古今集時代の歌人としても名高い。この慈円が書写したとされる新古今集の古筆切円山切が、本学にはなんと12枚もまとめて所蔵されている。それも、今まで知られていない新出の資料である。800年近く前に書写された円山切の筆跡は、鋭く強くかつ美しい。

新古今集の歌人として最も有名な一人に、漂泊の歌人西行がいる。西行は晩年に生涯の総決算として、旧作から秀歌を自選し、歌合の形にまとめあげた。御裳濯河歌合⁽⁶⁾と宮河歌合⁽⁷⁾である。このふたつの歌合の写本は数多く残っているが、本学の所蔵する写本は伝存するものの中で最も古い写本で、『新編国歌大観』⁽⁸⁾に両歌合の底本として採用されている。

これらの他にも、鎌倉時代成立の説話集沙石集の室町時代書写の写本⁽⁹⁾（これは重要美術品に指定されている）、中院通村筆と伝えられる源氏物語の写本⁽¹⁰⁾など、学問的に貴重な写本が本学には少なからず蔵されている。書庫の奥に眠っているこれらの写本を、文化財としてより多くの人々の目に触れさせたいと、私は秘かに願っている。

《注》

- | | | | |
|----------------------------------|------------------|--------------------|-------------------|
| (1) 『古今和歌集』(嘉禄本) | K911.13/Ko43 国文 | (6) 『西行歌合』(御裳濯河歌合) | K911.18/Sa18 国文 |
| (2) 『古今和歌集』(貞応本) | K911.13/Ko43 国文 | (7) 『西行歌合』(宮河歌合) | K911.18/Sa18 国文 |
| (3) 『顕註密勘』3巻 | K911.13/F68 国文 | (8) 『新編国歌大観』全10巻 | M911/Sh69 参考 |
| (4) 『顕註密勘』3巻 (日本古典文学影印叢刊 22) | 918/N77 中央 | (9) 『沙石集』10巻 | K913.47/Mu23 国文 |
| (5) 『新古今和歌集卷第十一、十二、十三、十六断簡』(円山切) | K911.14/J48 貴重書庫 | (10) 『源氏物語』(元和筆写本) | K913.36/Mu56 貴重書庫 |

今回ご紹介した資料の利用について

貴重書、準貴重書の閲覧は館長の許可を要するため事前の手続きが必要です。詳しくは中央図書館2階カウンターにお問い合わせ下さい。なお、大学院生は指導教員の推薦状が、学部学生は指導教員の同伴が必要となります。

Library Navigator

ProQuest

1. 電子ジャーナルとは

雑誌といえば、まず図書館の雑誌室などに並んでいる冊子体の資料をイメージしますが、最近では、外国の雑誌を中心に、電子ジャーナルと呼ばれる新たな電子的形態の雑誌が急速に増えつつあります。これまで紙を媒体として刊行されてきていた雑誌が電子化され、コンピュータ上で読めるようになったものです。インターネットを介して、データベースや出版社のホームページに接続し、雑誌の論文や記事をパソコンのディスプレイ上で閲覧したり、プリンタから論文を出力することもできるようになっています。

2. ProQuest とは

ProQuest Information and Learning 社が提供している、洋雑誌の電子ジャーナルがパッケージ化された全文データベースです。様々な分野の雑誌、新聞記事の全文情報がインターネット経由で提供され、その場で入手できるサービスです。

中央大学では、ProQuest のデータベースのうち、人文・社会から自然科学まで幅広い分野の雑誌を収録した ProQuest Academic Research Library と経済・経営分野の雑誌を中心とした ProQuest ABI/INFORM が利用できます。

3. 利用方法

(1) 接続方法

中央大学の学内に設置されているインターネットに接続できるパソコンであれば利用できます。図書館内においては、外部データベース情報検索用端末からご利用ください。

(2) 接続の実際

中央大学図書館ホームページ→「外部オンラインデータベース検索」→雑誌記事全文情報（電子ジャーナル）欄の「ProQuest Academic Research Library」もしくは「ProQuest ABI/INFORM」を選択すると、両方の画面展開は同じで ProQuest の紹介ページに展開→ページ下段のボタンの中から日本語インターフェースか英語インターフェースのいずれかを選択→ProQuest データベースのトップページに展開したところで、続行（Continue）ボタンをクリック→基本検索画面に接続されます。

4. 検索の実際

ここでは日本語インターフェースが選択され、その基本検索画面が表示されています。基本検索画面でも検索は可能ですが、今回は詳細検索から検索してみます。「詳細検索」のタブをクリックします。



詳細検索画面が表示されます。ここで検索語を入力します。検索語には、論文・記事タイトル、著者名、抄録などの指定ができます。日付範囲では、出版された時期の指定もできます。検索語の入力が完了したら検索ボタンをクリックします。

検索結果の一覧
が表示されます。

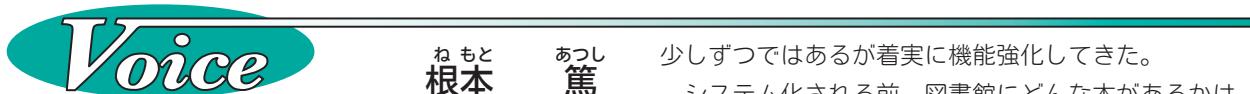
読みたい記事の
タイトルをクリック
するか、記事タ
イトルのすぐ下に
表示されている記
事の形式を表すア
イコンをクリック
します。

記事の出力形式には、書誌、抄録、フルテキスト（文字情報のみ）、フルテキスト+イメージ（文字情報にJPEG画像が加わったもの）、ページイメージ（PDF形式で紙媒体の雑誌と同じ体裁）などがあります。

記事内容を読むことができます。印刷したり、電子メールへ
の送信も行うことができます。

5. 全文へのリンクがない雑誌論文の利用について

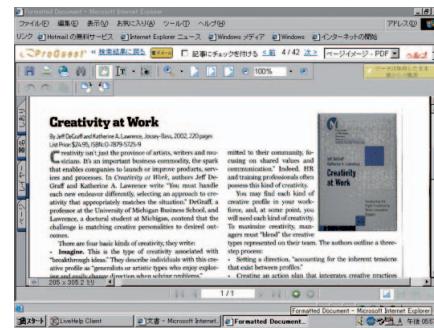
検索結果の中には、刊行年の古い雑誌や収録対象外のため全文へのリンクがない雑誌論文も存在します。記事タイトルや抄録を読むことで、読んでみたい論文が見つかったら、その論文を収載する冊子体の雑誌が学内に所蔵されているかを調べます。中央大学蔵書検索（CHOIS）で、冊子体の雑誌の所蔵が見つかれば、所蔵する図書館・図書室で利用してください。残念ながら、中央大学に該当する雑誌が所蔵されていない場合は、大学図書館間の「相互利用サービス」を利用して、他の図書館から論文のコピーを取り寄せたり、該当の雑誌を所蔵する図書館に直接閲覧に行くこともできます。こうした学内にない資料の利用にあたっては、中央図書館のレファレンスカウンターや各分館のカウンターにご相談ください。



検索結果一覧画面



記事情報表示画面



記事情報表示画面
(PDF形式によるページイメージでの表示)

Voice
ね もと
根本 篤

学生の皆さんにはOPACといって何のことなのかわかるだろうか。それとも中大生にとってはCHOISの方がとおりがいいだろうか。OPACとはOnline Public Access Catalog、つまりコンピュータを利用した蔵書目録のことであり、街の公共図書館でもシステム管理されているところではかなり導入されてきていると思われる。CHOISはCHuo Online Information System、中央大学図書館の図書館システムを指し、利用者の側から見た場合OPACに利用記録の照会や質問システム、新着案内などの機能を付加したものであるといえる。

中央大学の図書館がシステム化されたのが1989年で今から16年前、当時は図書館内に設置されたコンピュータから利用できるだけで、古い本は相変わらずカード目録も併用しなければならず、使い勝手の面でまだまだ不十分なものだった。現在では、ハングルやアラビア語など一部の文字を除き全ての資料が登録されており、いくつかの外部オンラインデータベースとの連携もこれるようになった。また、インターネットを利用してことで自宅はもちろん携帯電話からの蔵書検索も可能になるなど、

少しずつではあるが着実に機能強化してきた。

システム化される前、図書館にどんな本があるかは、紙製の目録カードを使用し、書名、著者名、請求記号など限られた情報から探すしかなかった。閉架書庫にも大量の蔵書を持ち、分館もある本学のような大規模図書館では、全ての利用者が常に本を手に取りながら探すことはできないし、なじみのない人にはカードの使い方は難しく、分類や請求記号といってもピンとこないことも多かっただろう。急速なパソコンの普及による「検索」の一般化もあり、コンピュータを利用することで本を探すことはより簡単になり、図書館は使い慣れた研究者のものから、もっと敷居の低い、身近なものになったのではないだろうか。

中央大学図書館の蔵書数は190万冊を突破した。また、冊子体の資料にとどまらず、様々なデータベースも導入され、必要な文献情報に辿り着くためのツールは多数用意されている。カード目録からOPACへ、更にデータベースまで含めた総合的な情報ツールへと、CHOISの進歩は利用者へのサービス向上を意識しながら今後も続いている。

(図書館総務課)

図書館さんぽ

第4回

よつ葉ライブラリー

住 所：〒180-0006 東京都武蔵野市中町2-2-2
ジュネス武蔵野4階

T E L：0422-55-2191

F A X：0422-55-2191

U R L：<http://www.yotsuba.co.jp/library/>

図書検索：<http://www.yotsuba.co.jp/cgi/book/index.html>

ビデオ検索：<http://www.yotsuba.co.jp/cgi/video/index.html>

利用資格：無条件（要登録）

開館時間：月～金曜 10:00～17:00

休 館 日：土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始・夏期休暇・その他

サービス：閲覧・貸し出し・レンタル・複写・AV資料の視聴

蔵 書 数：6,000冊、AV資料5,300本

交通アクセス：JR中央線、三鷹駅北口 徒歩5分
JR中央線、三鷹駅北口にてバス乗車、「武蔵野警察署前」下車 徒歩2分

座 席 数：21席、蔵書検索機1台、AV再生装置1台

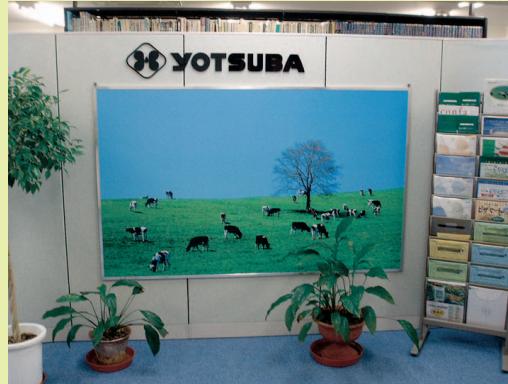
よつ葉ライブラリーは、食品、環境など誰もが関わりがあり、身近なテーマに関する資料が集められた専門図書館です。有害な食品や環境から身を守るため、「よつ葉牛乳」の共同購入に取り組んでいた皆さんのが集めた資料を元に、1988年に設立されました。食品・環境・農業を中心に、暮らし・社会問題・人文科学など幅広いジャンルの図書を所蔵しています。

また昭和40年代から今日までテレビ放映された、食品や農業に関する番組を収録した約5,300本にのぼるビデオは、「見て知る」貴重な資料です。見逃した食品関係などの番組が、収録されているかもしれません。興味のあるビデオは、館内で見ることができます。

館内の検索機の他、ホームページ上にある図書検索・ビデオ検索から、お目当ての本やビデオのリストを自宅から、検索することもできます。

また閲覧席には、ブースで区切られていないオープンスペースもありますので、食品や環境に関する新しい、「情報と交流の拠点」として利用できます。

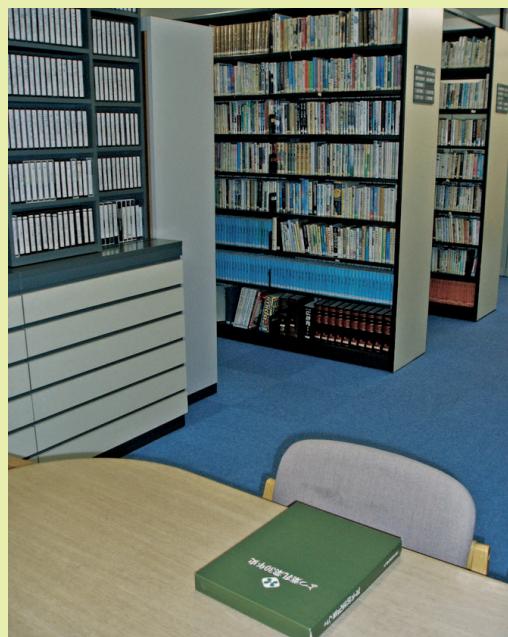
私達の身边にあるテーマである、“食べもの”に関する本を読んだり、ビデオを見ることから、添加物、環境汚染など、向き合わなくてはならない問題に、気づかれます。一つの食べものから、どんどん世界を広げていくことができるのではないかでしょうか。



ドアを開けると広い牧場の写真が迎えてくれる



こだわりの“よつ葉”乳製品のいろいろ



書架、ビデオ棚、閲覧席は明るい雰囲気の中

新収資料紹介

①教職員著作目録 2005.2-2005.4 () は所属学部等

著者名		書名	出版社	配置場所	請求記号
ベルトルト・ブレヒト 石黒 英男(名誉教授) 内藤 猛	著 訳	転換の書 メ・ティ	續文堂出版	開架・中央	944/B72
今宮 謙二(名誉教授)	著	動乱時代の経済と金融	新日本出版社	開架	332.106/I44
内野 正幸(法科大学院)	著	憲法解釈の論点 第4版	日本評論社	開架・中央	323.14/U22
大淵 寛(経済学部) 兼清 弘之	編著	少子化の社会経済学 (人口学ライブラリー 2)	原書房	開架・中央	334.3/J52
大岩信太郎(名誉教授)	著	やさしいドイツ文法	三修社	開架	845/O35
加美 和照(名誉教授)	著	会社法 新訂 第8版補訂版	勁草書房	開架・中央	325.2/Ka37
川原 彰(法学部)	著	現代比較政治論	中央大学出版部	開架・中央	311/K92
木田 元(名誉教授)	著	新人生論ノート(集英社新書 0280)	集英社	開架・中央	104/Ki12
久米 均(理工学部)	著	品質管理(シリーズ現代工学入門)	岩波書店	開架・理工	509.66/Ku37
小島 武司(法学部)		A D Rの実際と理論 2 (日本比較法研究所研究叢書 68)	中央大学出版部	開架・中央	327.5/Ko39
小林 道正(経済学部)	著	よくわかる微分積分の基本と仕組み (How-nual 図解入門 Visual guilde book)	秀和システム	開架・理工	413.3/Ko12
佐々木信夫(経済学部)	著	政策の潮流、改革のうねり	ぎょうせい	開架・中央	318/Sa75
園田 茂人(文学部)	編著	東アジアの階層比較 (中央大学社会科学研究所研究叢書 15)	中央大学出版部	開架・中央	361.4/So45
滝田 賢治(法学部)	編著	グローバル化とアジアの現実 (中央大学法学部政治学科50周年記念論集 4)	中央大学出版部	開架・中央	319.2/Ta73
建部 正義(商学部)	著	はじめて学ぶ金融論 第2版	大月書店	開架・中央	338/Ta94
鶴田 満彦(名誉教授)	編著	現代経済システム論	日本経済評論社	開架・中央	332/Ts87
中川 敏(名誉教授)	著	山河ひとり 中川敏詩集	土曜美術社出版販売	中央	911.56/N32
中沢 新一(総合政策学部) 牧野 千穂	著 絵	モカシン靴のシンデレラ	マガジンハウス	開架・中央	388.51/N46
福岡 捷二(研究開発機構)	著	洪水の水理と河道の設計法	森北出版	中央・理工	517.5/F82
古城 利明(法学部)	編著	世界システムとヨーロッパ (中央大学法学部政治学科50周年記念論集 3)	中央大学出版部	開架・中央	312.3/F93
森 安彦(文学部)	編	地域社会の展開と幕藩制支配	名著出版	中央	210.5/Mo45
矢島 正見(文学部) 耳塚 寛明	編著	変わら若者と職業世界 (シリーズ職業とライフスタイル 6)	学文社	開架	366/I76
横田 洋三(法学部)	編	国際法入門 第2版(有斐閣アルマ Basic)	有斐閣	開架・中央	329/Y78
「日本論」プロジェクト	編	日本論 (中央大学政策文化総合研究所研究叢書 1)	中央大学出版部	開架・中央	302.1/C66
中央大学人文科学研究所	編	民国後期中国国民党政権の研究 (中央大学人文科学研究所研究叢書 35)	中央大学出版部	開架・中央	222.07/C66
中央大学図書館(現職員)		中央大学所蔵 狂歌関係書解題目録	中央大学図書館	中央・国文	M029.7/C66

*配置場所の記載は2ヶ所までとした。

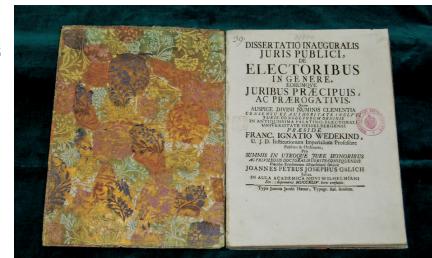
「ライヒ最高裁判所図書館旧蔵17~18世紀法学学位論文・討論録コレクション」の 目録データをホームページに公開いたしました

このコレクションは旧東ドイツのライヒ最高裁判所図書館が所蔵していた17~18世紀の法学学位論文・討論録全3,412点から成るもので、当館が既に所蔵している「ロストック大学旧蔵16~18世紀法学学位論文コレクション」(貴重 340.82J95)と双璧をなす第一級のコレクションです。

1984年度高額図書費で購入したのですが、膨大な資料であることや、本文の言語がラテン語であることから目録データの整備が遅れていたものでした。

このたびようやく、論文に対応した目録カードをデータ化し執筆者順に配列したものを図書館のホームページに画像で公開できる運びとなりました。詳しくは下記のページをご覧下さい。

<http://www2.chuo-u.ac.jp/library/reich/frame2.html>





(1) 「中央大学所蔵狂歌関係書解題目録」刊行について

本学で所蔵している狂歌関係書の解題目録が発刊されました。編集・執筆については、鈴木俊幸文学部教授の支援のもと、本学大学院学生、図書館員3名（太田澄子、金津有紀子、斎藤理香）が行いました。

(2) 7月企画展示実施

本号で紹介された「古今和歌集」、「新古今和歌集」に関する本学所蔵資料について、下記の日程で展示を行います。実際の資料を是非ご覧下さい。

期 間：7月11日（月）～7月23日（土） 場 所：中央館2階ホール（展示ケース）

(3) 「ロンドン万博コレクション」テレビ番組に資料提供

本誌1号（2004年7月号）で紹介されました当館所蔵の「ロンドン万博コレクション」が、BSフジの番組内で、万博の歴史を紹介するために使用されました。

放送日：2005年6月5日（日） 21時～22時30分

番組名：TOSHIBA Special 「電気の神様～藤岡市助物語～」

(4) 「2004年度蔵書統計結果」について

2005年3月31日現在の統計は、以下のとおりです。図書の蔵書数は、190万冊に達しました。

- | | | | |
|---------------|--------------|------------|--------------|
| 1) 図 書（冊 数） | 和書：1,092,616 | 洋書：812,169 | 合計：1,904,785 |
| 2) 逐次刊行物（種類数） | 和書： 13,403 | 洋書： 10,018 | 合計： 23,421 |

(5) 「2005年 日・EU市民交流年フレンドシップウィーク」開催について

中央図書館2階にあります国際機関資料室において、5月9日（月）から14日（土）まで「EUクイズ」が出題され、正解者にはEUグッズが賞品として渡されました。

フレンドシップウィークは、毎年5月9日の「ヨーロッパ・デー」に合わせて行われており、今年2005年は特に、「日・EU市民交流年」となっています。また、国際機関資料室は、1979年よりEU資料センター（当時はEC）に指定されていますが、現在全国に19大学の図書館内にEU資料センターが設置されています。

(6) 7月の休日開館について

- 1) 中央図書館 7月10日（日）、17日（日）、18日（祝）、24日（日）：10時～18時
- 2) 理工学部分館 7月24日（日）、31日（日）：10時～18時

編集後記

今回の特集で、文学部池田先生には、「和歌と物語の古写本コレクション」についてご執筆頂きました。また、取材に応じて下さいました「よつ葉ライブラリー」のスタッフの方には御礼を申し上げます。

「インフォメーション」に記載されています、「ロンドン万博コレクション」の資料提供依頼は、本誌記事をインターネット検索で発見されたためでした。このように情報源となったことは担当者として嬉しい限りです。

お陰様で、昨年7月に「My CUL」として新しく刊行されました本誌も、2年目を迎えることができました。今後も誌面の改善に向けてスタッフ一同努力して参ります。読者の皆様のご意見、ご要望をお待ちしております。

(e-mail : lib-home@tamajs.chuo-u.ac.jp)